

システムの保守 (1)

－ 「システムの復元ポイント」の作成 <Windows VISTA Windows 7> －

1. スタートメニューから「コンピュータ」を右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリック。【図 1】
2. (「アカウント制御」で「続行」をクリック後に表示される画面で)「システムの保護」をクリック。【図 2】

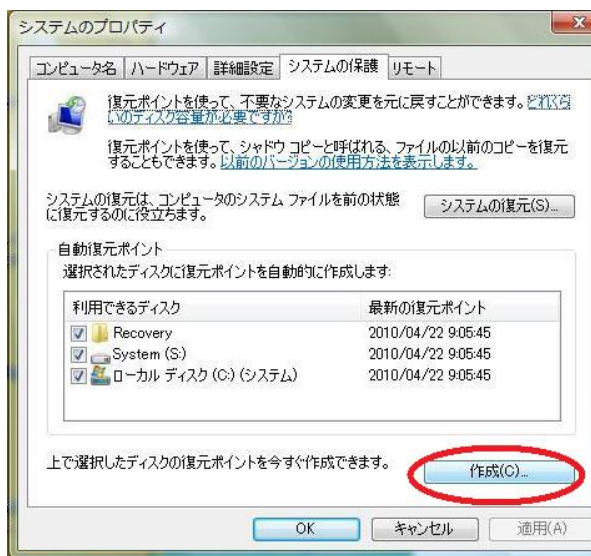


【図 1】「プロパティ」

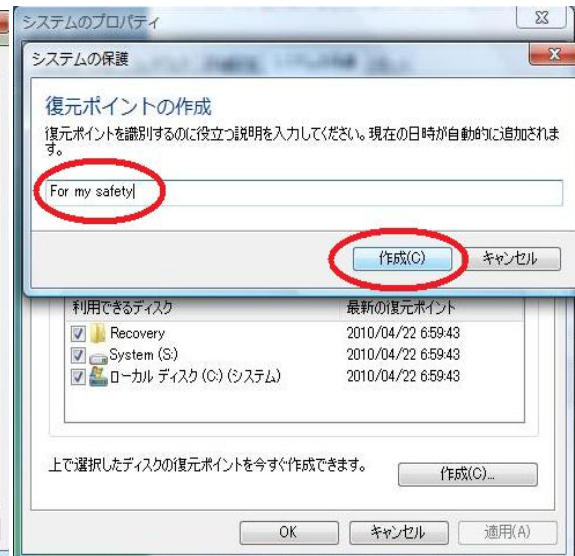


【図 2】「システムの保護」

3. (「アカウント制御」で「続行」をクリック後に表示される画面で) しばらくして利用できるディスク一覧が表示された後、「作成」をクリック。【図 3】
4. 「復元ポイントの作成」画面で、空白行に、文字 (自分あて覚え) を記入し、「作成」をクリック。【図 4】

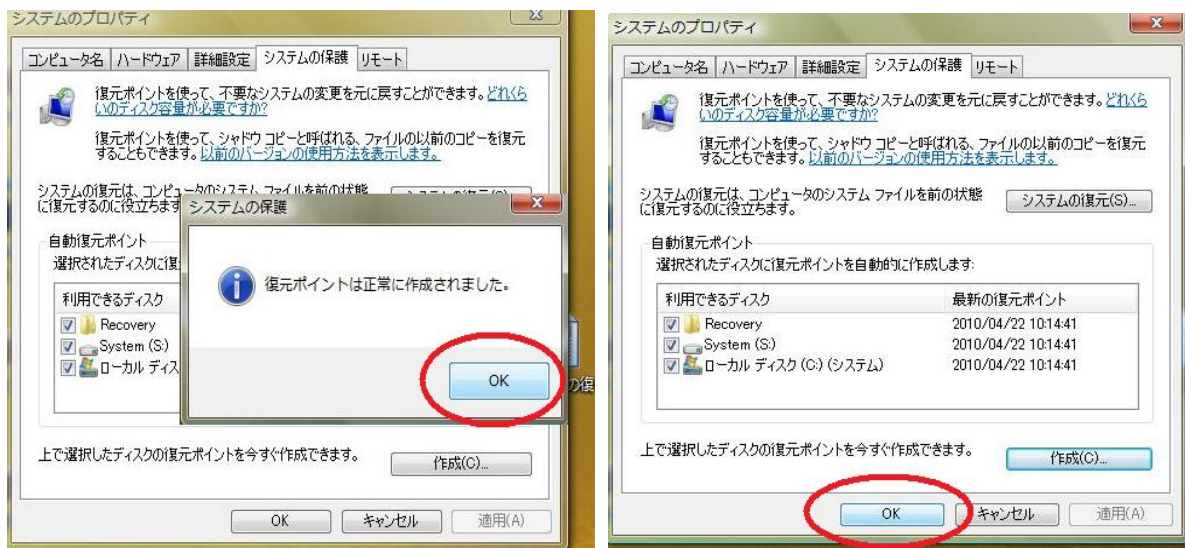


【図 3】「作成」



【図 4】説明文字入力後「作成」

- しばらくして、復元ポイントの正常な作成完了メッセージの表示がされた後、「OK」をクリック。
【図5】
- (元の画面に戻るので) 再度「OK」をクリックで、終了。【図6】



【図5】作成完了メッセージ後「OK」

【図6】最後に「OK」

以上

<注>

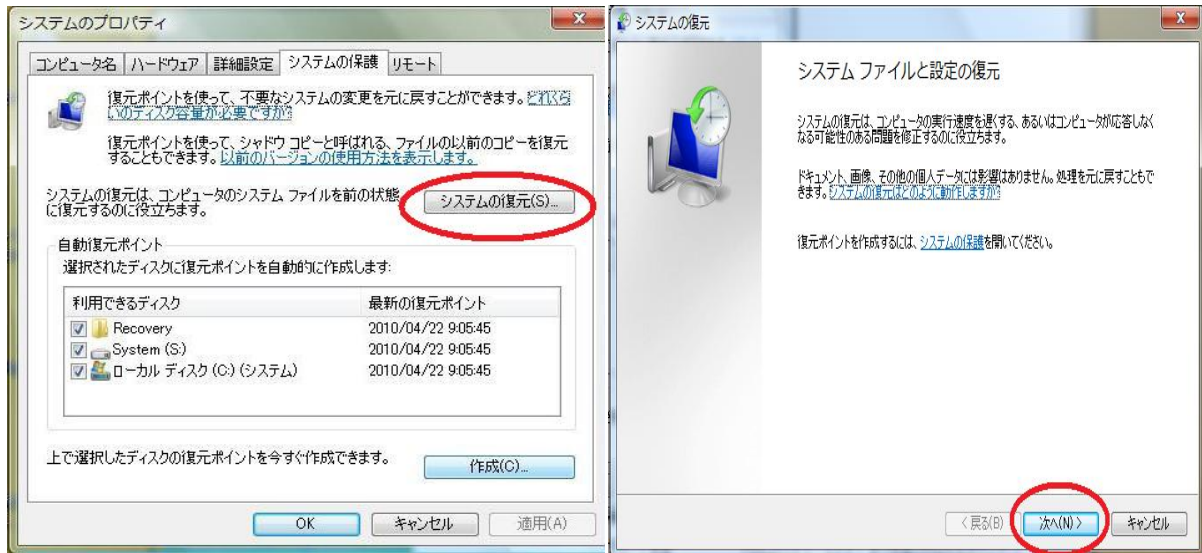
- 「システムの復元ポイント」は、自動的に作成されていますが、正常に動作している時には、時々、ご自身で上記に記したように、復元ポイントを作成することをお奨めします。
- 「システムの復元ポイント」は、自動的に作成されていることもあり、結果的にはハードディスクの容量が少なくなっていくます。

その場合の一つの対処方法は、Windowsの「アクセサリ」→「システムツール」内の、「ディスククリーンアップ」を実行すること。特に、「詳細オプション」の「最新のシステム復元ファイル以外の古い復元ファイルを削除すると空き領域が増加します」を参考に、「システムの復元とシャドウ コピー」の下方の「クリーンアップ(C)」をクリックすることです。

システムの保守（２）

－ 「システムの復元ポイント」 からシステムの復元 <Windows VISTA Windows 7> －

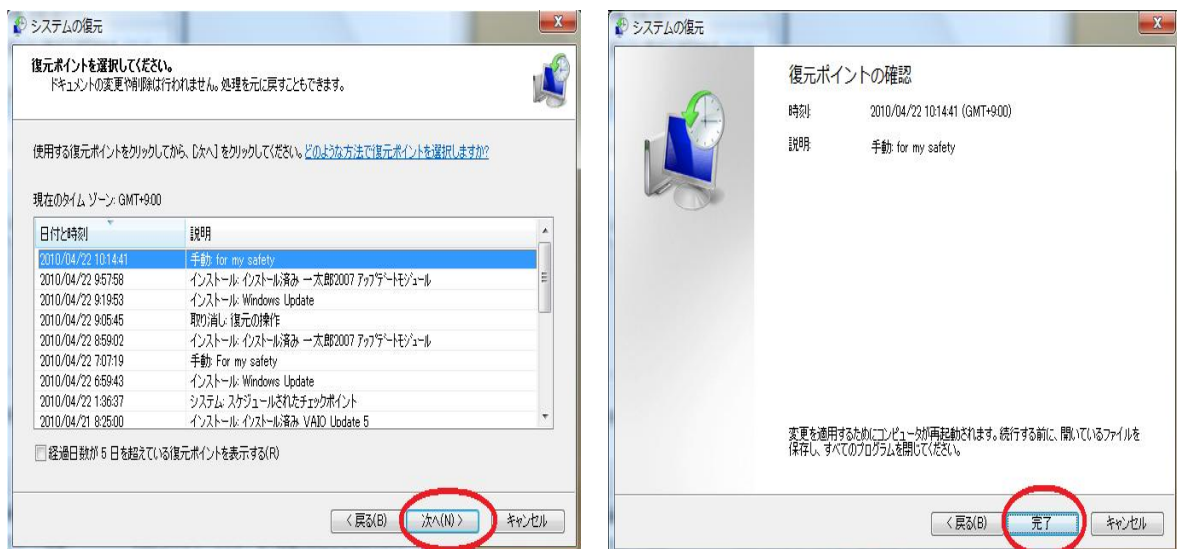
1. システムの保守（１）－ 「システムの復元ポイント」 の作成 <Windows VISTA Windows 7> ー の【図 3】の画面で、「システムの復元」をクリック。【図 7】
2. システムファイルと設定の復元画面で「次へ」をクリック。【図 8】



【図 7】 「システムの復元」

【図 8】 「次へ」

3. 何時の時点の復元ポイントに戻るかを考える。一つ（行単位）を選択（「ポイント」）し、「次へ」をクリック。【図 9】
4. 「復元ポイントの確認」。再度慎重に復元するファイル等の「時刻」「説明」を確認し、「完了」をクリック。【図 10】



【図 9】 復元ポイントの選択

【図 10】 確認し「完了」

5. 正常に稼動すれば、しばらくして、自動的に再起動し、選択した復元ポイント時点のシステムファイル等の状態に戻る。

以上